

平成 26 年 3 月 27 日

一般財団法人熊本放送文化振興財団  
理事長 小堀富夫 様

「庭に一本なつめの金ちゃん」制作上演委員会  
委員長 副島 隆



## 「庭に一本なつめの金ちゃん」熊本・東京公演 実績報告書

- 1) 団体名 「庭に一本なつめの金ちゃん」制作上演委員会
- 2) 事業名 「庭に一本なつめの金ちゃん」熊本・東京公演

### 3) 事業実施結果

#### 【熊本公演】

- ・実施日時：平成 25 年 11 月 26 日(火) 18:00～20:00  
※開演前の 17:00 より、対談 出久根達郎×小野友道「本の楽しさ」を実施
- ・実施場所：市民会館崇城大学ホール（熊本市中央区桜町 1-3）
- ・出演：熊本演劇人協議会
- ・入場者数：1,100 人（推計）

#### 【東京公演】

- ・実施日時：平成 25 年 12 月 7 日(土) 【昼の部】14:00～16:00  
【夜の部】18:00～20:00  
※公演前日の 12 月 6 日(金)にレセプション「出久根さんを囲む会」を実施
- ・実施場所：牛込笹笥区民ホール（新宿区笹笥町 15 番地）
- ・出演：熊本演劇人協議会
- ・入場者数：【昼の部】400 人 【夜の部】200 人（推計）

### 4) 実施内容

平成 25 年 11 月に熊本で、12 月 7 日に新宿区で「庭に一本なつめの金ちゃん」を上演しました。「庭に一本なつめの金ちゃん」は文豪夏目漱石が登場するオリジナル演劇であり、明治期の熊本と新宿区を舞台に物語が展開されます。演劇台本は直木賞作家で古書店主でもある出久根達郎氏による書き下ろしです。役は全て熊本を中心に活動する演劇人協

議会が担当しました。

漱石は明治期の熊本に暮らし、新宿区を終焉の地としました。漱石は熊本を題材として「草枕」「二百十日」などの名作を執筆し、新宿区においては早稲田南町の「漱石山房」と呼ばれた家で「それから」「こころ」「道草」などの代表する作品を執筆しました。漱石を通じた縁で結ばれた熊本と新宿区において漱石を題材とした文化事業を開催することは、地域間の交流の促進や、文化による熊本・新宿区双方のイメージアップ、演劇の活性化に寄与するものと考えます。

熊本公演では公演前に作者の出久根達郎氏と小野友道氏（熊本保健科学大学学長）による対談「本の楽しさ」が行われ、開演前から多くの聴衆を集めました。公演時には 1,500 席の会場がほぼ満席状態となるほどの入場者数があり、熊本県民の方々の夏目漱石への関心の高さが伺えました。

東京公演では公演前日にレセプション「出久根さんを囲む会」が行われ、中山新宿区長や小野熊本県副知事、出久根達郎氏など関係者 70 名が参加・交流しました。レセプションには熊本県産の製品・食材が使用されたほか、レセプションと昼夜 2 回の公演前には「くまモン」に登場して頂き、熊本の PR を行いました。公演当日は昼の部・夜の部を合わせて 600 名近い入場者数があり、熊本同様に大きな成功を収めることが出来ました。

## 5) 今後の展開

熊本公演・東京公演共に大きな成功を収め、熊本県民・新宿区民双方の漱石への関心の高さが伺えました。2016 年～2017 年に迎える「漱石生誕 150 年」「来熊 120 年」に向け、今後も八雲・漱石を軸とした熊本と新宿区の交流事業を継続し八雲・漱石の顕彰を進め、両地域間の文化交流をより規模の大きなものへと発展させて行きたいと考えます。

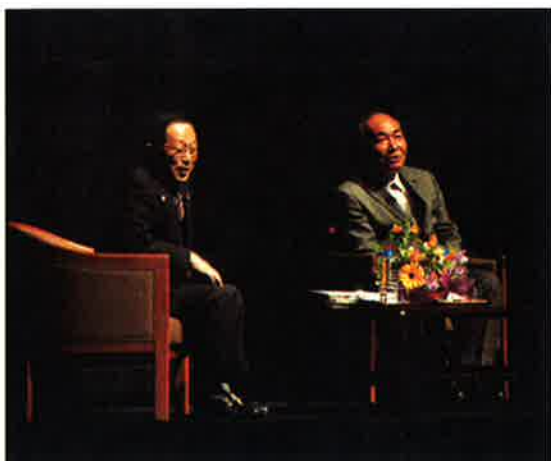
## 「庭に一本なつめの金ちゃん」熊本・東京公演

- <実施日時> 熊本公演 平成 25 年 11 月 26 日 (火)  
対談 出久根達郎×小野友道 17:00~18:00  
公演 18:00~20:00  
東京公演 平成 25 年 12 月 7 日 (土)  
[昼の部] 14:00 ~ 16:00  
[夜の部] 18:00 ~ 20:00
- <開催場所> 市民会館崇城大学ホール 熊本市中央区桜町 1-3  
新宿区立牛込笹笥区民ホール 東京都新宿区笹笥町 15 番地
- <出演者> 演劇：熊本演劇人協議会  
<作> 出久根達郎 (直木賞作家)

漱石が登場するオリジナル演劇を熊本市と東京・新宿区で公演しようと企画。漱石は明治期の熊本に暮らしたことがあり、新宿区は漱石の終焉の地でもあります。熊本と新宿区で開催することで、地域間の交流を図り文化による熊本のイメージアップと、演劇の活性化を目的に行います。なかでも直木賞作家で古書店主でもある出久根達郎氏に演劇台本を依頼し、作品「庭に一本なつめの金ちゃん」演劇公演を実施しました。

熊本公演は崇城大学市民ホールにて開催され、1500 席の会場はほぼ満席状態でした。公演前に、「本の楽しさ」をテーマに出久根達郎氏 (作家) と小野友道氏 (熊本保健科学大学学長) の対談が行われました。東京公演は牛込区笹笥区民ホールで開催されました。受付にくまモンが登場すると、来場されたお客様はくまモンとの記念撮影に列ができるほど盛り上がりました。熊本市や県東京事務所の協力で観光ポスターの掲示や観光パンフレットの配布なども行ない、熊本を大いにPRしました。

また、東京公演前日は「出久根さんを囲む会」が行われ、新宿区中山区長や熊本県小野副知事、出久根達郎氏など関係者 70 名余りが参加して交流しました。2016 年~2017 年に迎える漱石生誕「150 年」「来熊 120 年」の話題もありました。



▲出久根達郎氏 (写真右) と小野友道氏の対談



▲熊本会場風景



■公演の様子



■公演の様子



■公演の様子



■公演の様子



■東京公演 牛込筆筈区民ホール（昼の部）



■東京公演に現れたくまモン

## 「出久根さんを囲む会」

＜実施日時・会場＞ 平成 25 年 12 月 6 日 六本木ハリウッドプラザ 12F（東京都港区）

公演の前日、12月6日に行われた「出久根さんを囲む会」においては、小野泰輔熊本県副知事や新宿区中山弘子区長をはじめ、全国各地から70余名の作家や報道関係、雑誌社、漱石研究家などの参加があり開催されました。

熊本県東京事務所にもご協力頂き、熊本サプライズPRマスコットキャラクターのくまモンにも登場して頂き、会場を大いに盛り上げて熊本のアピールをして頂きました。

また、熊本市からは観光ポスターの掲示や熊本の観光案内パンフなど資料の配布も行いました。

会場で使用されたお酒や料理は熊本の企業から協賛いただいた商品や食材を使用しており、使用した商品の展示を行っています。



■熊本県小野副知事



■新宿区中山区長



■中央が出久根達郎氏



■協賛企業から提供いただいた商品



■熊本市の観光案内資料

## 「庭に一本なつめの金ちゃん」熊本・東京公演 収支決算書

### 【 収 入 】

(単位:円)

項 目	決 算 額 (円)	摘 要
自己資金	774,904	
チケット売上収入	4,175,700	熊本公演: 一人3,000円×1158+2,700×11=3503700円 /東京公演: 3,000円×224(2回公演)=672000円
広告収入	500,000	プログラム広告
助成金	800,000	熊日文化・スポーツ基金/熊本放送文化振興財団/熊本公徳会
特別協賛その他	1,520,350	熊本保健科学大学協賛、寄付、業務受託など
預金利息	16	
収入合計	7,770,970	

### 【 支 出 】

項 目	決 算 額 (円)	摘 要
賃金	48,000	熊本会場・東京会場 受付・準備・会場整理など
委託料	4,029,677	舞台美術・装置・照明・空間デザイン一式 音響・衣装・小道具・メイク等一式 企画運営費など
印刷費	1,077,065	ポスター、公演プログラムA4サイズ、チラシ、チケット 当初予算より増刷あり デザイン版下製作費
看板代	53,500	案内用パネル制作費
郵送・宅送・運送代	164,105	案内状・チケット送付 郵送メール便利用、宅急便、その他
飲食費、茶菓代	168,000	弁当代(出演者・スタッフ・オペレータ・くまもん隊等(昼・夜))
消耗品、事務用品	387,130	はがき、収入印紙200円、封筒・用紙購入、資料製作コピー代等、郵貯 印字サービス、ゴム印制作、振込手数料、その他
執筆・演出料	550,000	執筆料、演出料
旅費、宿泊費	866,597	出演者・スタッフ 航空券、宿泊料
レセプション	426,896	ケータリング・食材費
支出合計	7,770,970	